

ボランティアで
能動的に行動する力を身につける

自信を持って安全な 航空機を提供したい

日本航空大学校 北海道
新千歳空港キャンパス

みうら さんしろう
三浦 三四郎 さん



千歳市出身／航空整備科3年生。中学校、高校と陸上部に在籍し、短距離ランナーとして活躍した。来年の4月に大手航空会社への就職が内定しており、航空整備士の資格取得をめざして日々研さんを積んでいる。

みなさんの活躍
紹介します

人の窓

日本航空大学校には、小学生のときに航空少年団に在籍していたため、昔からよく来ていました。幼いころから飛行機が好きで、ずっと航空整備士になりたいと思っていたので、この学校に進学することは以前から決めていました。

JALマラソンにはボランティアスタッフとして参加し、最終の第8給水所でランナーの方々へのドリンク配りを担当しました。印象的だったのが、目標タイムをめざして走っている人、マラソンを楽しんでいる人、最後まで諦めずに頑張っている人など、さまざまなランナーがいたことです。それらの方々の姿を見て、私もマラソンにチャレンジしてみたいと思いました。チャレンジをして努力されている方は輝いているなと感じます。

ボランティア活動は、能動的に行動する力を身につけることができると思います。またチームで協力すること、意見を出し合うことの大切さも改めて認識しました。特に、気づいたことを恐れずに伝えることは、社会に出てからも必要な能力だと思っています。

私が在籍している航空整備科では、実習用の機材や計器のカットモデルがたくさんあり知識を深めることができます。また、実際に現場で仕事をされ、豊富な知識を持っている先生方がたくさんいるため、どんな質問にも的確でわかりやすく返答していただけます。さらに、就職に関するサポートも非常に充実していて、私自身、夢を叶えることができました。

今は、二等航空整備士の資格を取得するため、10月に実施される国家試験に向けて勉強しているところです。最も整備に携わってみたいと思う機材は、大型旅客機のB777です。B777は、ハイテクの塊である最新鋭機のB787と古いタイプのB767の中間に位置し、どんな旅客機にも応用が利くと思うからです。

将来は、幅広い知識と経験を取得し、自信を持って安全な航空機を提供できる航空整備士になりたいです。

第4回

今月は千歳市の友好親善都市、《ノルウェー王国コングスベルグ市》と《中華人民共和国 長春市》の2都市を紹介します。

コングスベルグ市は、ノルウェー王国の首都オスロから車で1時間程度のところに位置し、銀の産出地として栄え、現在は先進的な防衛、情報、自動車産業の企業が立地している化学と技術の町です。市内中央部には川が流れ、千歳市に似た環境にあります。

毎年2月に開催されている《ちとせホルメンコーレンマーチ》(千歳市体育協会主催)は、本場ノルウェー王国で開催されている《ホルメンコーレンマーチ》から名付けられており、大会には駐日ノルウェー王国大使館関係者を招待し、大会参加などを通じ友好を深めています。



長春市国際友好親善都市
ハーフマラソン大会

長春市は、中華人民共和国吉林省の省都で、政治、経済、文化の中心地となっており、自動車工業と映画制作の拠点地でもあります。

平成28年9月からは、長春市が開催する《長春市国際友好親善都市ハーフマラソン大会》と千歳市が開催する《千歳JAL国際マラソン大会》に隔年でお互いのまちの選手を派遣するスポーツ交流がはじまりました。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、選手の派遣は中止となっていますが、交流が途切れることがないよう、オンラインによる交流会を実施し、友好を深めています。



千歳市の

友好親善都市について



ちとせホルメンコーレンマーチ